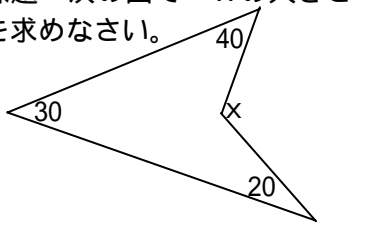


言語技術の効果的な活用・言語活動の充実を図った
数学科の授業実践例

大崎上島町立東野中学校

- 1 学年・単元名 第2学年 図形の性質の調べ方「平行線と多角形」
- 2 本時の目標 既習事項を活用し、角の大きさを求めることができ、その求め方を説明することができる。
- 3 本時の工夫点 問題が把握しやすく、既習事項を使って、さまざまな解決方法が可能になる問題を設定する。
- 4 学習の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 事 項	評 価 基 準 (評価方法)
<p>1 本時の学習課題を確認する。 ・既習事項を利用して、角の大きさを求めることを確認する。</p> <p>課題 次の図で x の大きさを求めなさい。</p> 	<p>既習事項を利用して角の大きさを求める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対頂角の性質 ・同位角, 錯角と平行線 ・三角形の角の性質 ・多角形の内角の和, 外角の和 など <p>基本図形の性質の確認をさせる。</p>	
<p>2 自分の考えをワークシートに記入する。 ・どんな目的で補助線を引いたのか、どういう性質を使って解いたのか書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・できるだけたくさんの解き方を考えさせる。 ・どういう性質を使ったのかもワークシートに記入させる。 ・ワークシートに補助線を引き、同じ大きさの角には同じ印をつけ説明のとき分かりやすくする。 <p>考えを記述することにより、思考を整理する。</p>	<p>「見方・考え方」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を利用して考えようとしているか。 ・いろいろな解決方法を考えているか。(ワークシート)
<p>3 考え方を全体に発表する。 ・既習事項をどのように利用して解いたか説明する。</p>	<p>説明のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の何を用いたか説明できる。 ・どんな目的で補助線を引いたか説明できる。 ・図を活用して説明できる。 <p>筋道を立てて説明する。 ・他の生徒の考え方と自分の考え方を比較しながら聞く。</p>	<p>「表現・処理」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの既習事項を利用したのか明確にしながら、筋道を立てて分かりやすく説明している。 <p>(ワークシート・発表)</p>
<p>4 まとめ ・それぞれの解法についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が不十分な場合は、他の生徒に補足説明をさせる。 ・それぞれの考え方のよさに気づかせる。 	